



第18回常任理事会

日時 令和3年12月7日(火) 18:00～19:38
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・菅田・寺本各常任理事、藤瀬・梶両監事
 (Web参加者) 長谷部・高橋両常任理事、外園監事
 (事務局：本田事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 令和3年度補正予算案に関する件

(目黒常任理事)

退任された役員11名の役員退任慰労金に関する令和3年度補正予算案を承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座8件を承認することと決定。

第3号 第6回理事会[12月11日(土)]の議案に関する件(目黒常任理事)

提出議案について了承。

第4号 その他

- (1) 令和4年1月行事予定に関する件(事務局)
- (2) 令和4年度予算関係三役・担当部長会議の日程に関する件(事務局)

報告事項

1. 第4回小児死亡時対応講習会[11月14日(日)]について(三戸常任理事)

小児がCPAで搬送された時点から始まる検査・診察・問診や解剖の説明・司法とのつながり・グリーンケア・CDR(チャイルド・デスレビュー)までの一連の対応につき学び、最終的には多機関が連携したCDRを各地域で実現することを目標として開催された。「子どもの死に向き合おう～子どもの死亡検証～」をテーマに、名古屋大学・沼口敦先生が講演した後、意見交換を行った。参加者は24名であった。

2. 第28回日本航空医療学会総会[11月19日(金)～20日(土)・熊本市]について(目黒常任理事)

国立病院機構熊本医療センター・高橋毅院長が会長となり、「継承と創造」をテーマに開催された。特別講演として医療法人社団永生会南多摩病院・益子邦洋院長より「ICTを活用した今後の航空医療」が行われたほか、パネルディスカッション「地域医療における航空機の活用」では、手稲溪仁会病院・奈良救命救急センター長が演者としてメディカルウイングに関する発表を行った。その他、航空医療に関するシンポジウム、一般演題、企業展示等が行われ、参加者は498名であった。次回は来年12月4日(日)に鳥取市で開催予定。

3. 第49回日本救急医学会総会・学術集会[11月21日(日)～23日(火・祝)・東京都]について

(青木常任理事)

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野・大友康裕教授が会長となり、「Challenge to Change—禍難を乗り越えて—」をテーマに開催された。都内の3会場で、シンポジウム、特別企画、招待講演などが行われ、参加者は約3,800名であった。次回は来年10月19日(水)～21日(金)に東京都で開催予定。

4. 第29回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会[11月26日(金)・Web会議]について(三戸常任理事)

日医・中川会長の挨拶後、担当役員より、新型コロナウイルス感染症の直近の状況ならびに新型コロナワクチンの追加接種(3回目接種)の方向性について報告があった。その後、厚生労働省担当者より、次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像について説明があり、質疑応答が行われた。

5. 勤務医部会全体会議[12月5日(日)・Web併用]について(水谷常任理事)

日医の勤務医関連会議や5月に実施した地域医療の現況調査ならびに結婚・少子化・労働環境への男女の意識調査結果等について報告した。続いて「医師の働き方改革について」を主題に厚生労働省医政局医事課・山本課長より「医師の働き方改革の施行に向けた準備状況について」、北海道労働局労働基準部監督課・上田課長から「医師の研鑽に係る労働時間に関する考え方及び医師等の宿日直許可基準について」と題して話題提供の後、活発な意見交換が行われた。

6. 日医女性医師支援担当者連絡会[12月5日(日)・Web会議]について(長谷部常任理事)

女性医師支援事業の今後さらなる発展のため、都道府県医師会や大学、各学会の特徴的・先進的な取り組み事例の紹介を行い、全国的に情報共有を図ることを目的に開催された。日医・中川会長(事前収録)ならびに日本医学会連合・門田会長の挨拶後、女性医師のキャリア支援や産業保健を中心とした多様な働き方、制度施行の迫る医師の働き方改革について

報告があり、各学会・大学医師会の取り組みに関して発表が行われた。参加登録者は351名であった。

7. 救急医療対策部会小委員会 [12月5日(日)・Web併用] について (青木常任理事)

部会長に余市協会病院・住田部会員、副部会長に北見医師会・荒川部会員、手稲溪仁会病院救命救急センター・奈良部会員が、前期から引き続き会長より指名されたことを報告した。続いて小職より当会主催の小児救急医療地域研修会や今年度実施予定の救急関係の事業を、奈良副部会長からメディカルウイングを、目黒常任理事からCOVID-19JMATや北海道医師会災害時医療救護活動マニュアルについて報告があった。その後、救急医療対策部会全体会議のプログラム等について協議した。

8. 外部各委員会報告

(1) 第11回新型コロナウイルス感染症対策有識者会議 [11月24日(水)・Web会議] について

(三戸常任理事)

事務局より、これまでの新型コロナウイルス感染症対策についての報告および国の新たなレベル分類などを踏まえた北海道の考え方について説明があり、意見聴取が行われた。

(2) 北海道口腔保健推進協議会 [11月24日(水)・Web会議] について (荒木常任理事)

昨年度の歯・口腔の健康づくりに係る施策の実施状況について、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した「歯科疾患実態調査」の中止ならびに「北海道歯科保健医療推進計画」の計画期間の延長について報告があった。協議事項では、北海道の歯科保健医療推進計画における指標項目の推進状況について説明を受けた。

(3) 北海道医療対策協議会 第1回地域医療を担う医師養成検討分科会 [11月25日(木)] について (佐古副会長)

前座長退任に伴い、松家会長が座長に選出された。その後、北海道医師確保計画の推進状況について、オンラインを活用した取り組みとして臨床研修病院合同説明会を開催し、200名の医学生が参加したことが報告された。また、地域枠制度の運営状況については、令和3年度の地域勤務者が札幌医大40名と旭川医大27名の合計67名であった。地方のニーズは、総合診療科にある一方で、地域枠の中では選択する医師が少ない等の問題もあるため、現在特定の診療科指定の地域枠は設けていないが、今後検討が必要との意見があった。医学部臨時定員については、令和4年度は札幌医大8名(地域枠)、北大7名(歯学部振替)を維持することが承認された。

9. その他

(1) 会員数について (目黒常任理事)

令和3年12月1日現在の当会会員数は8,236名で、内訳はA会員2,380名、B1会員622名、B2

会員4,668名、C1会員81名、C2会員131名、C3会員354名となった。なお、日医会員数は5,797名となっている。

道総医協関連事項 (鈴木副会長)

1. 第2回救急医療専門委員会 [11月25日(木)・Web併用] について (青木常任理事)

北海道大学病院における救命救急センター設置について協議し、異議なく了承された。また、SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)について、道内各空港の指定状況の報告があった。

2. 第3回地域医療専門委員会看護対策小委員会 [12月1日(水)・Web会議] について (水谷常任理事)

道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応について、第三者調査委員会による調査結果の概要やハラスメント等の事実確認の結果、今後の取り組みについて説明があった後、意見交換を行った。

第6回理事会

日時 令和3年12月11日(土) 16:30~18:19
場所 札幌パークホテル 3階「エメラルド」
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、

三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、島田・滝山・吉田・稲葉各理事、長瀬顧問、深澤参与、藤瀬・梶両監事

(Web参加者) 生駒常任理事、今・恩村・沖・久島各理事、外園監事、本間議長、井門副議長、山下委員

(日医オブザーバー等) 岡部・上埜両委員
(事務局: 本田事務局長ほか13名)

1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

(1) 日医理事会報告 (長瀬顧問)

10月の理事会では、中医協の件等の報告、令和3年度日本医師会休業補償制度継続契約の件等について協議した。また、事前の理事打合会において、藤井日医理事より子宮頸がん予防ワクチンに関して、接種対象者ならびに保護者に対してワクチンの安全性・有効性などの正しい情報提供を学校現場からも行う体制の確立、9価ワクチンの定期接種化、キャッチアップ制度などについて、国への働きかけを要望した。11月の理事会では、第18回オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会の件等の報告、令和3年度第3回都道府県医師会長会議開催の件等について協議した。また、事前の理事打合会において、保険業法に基づく特定保険業の役員研修を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照さ

りたい。

(2) 日医各委員会報告

1) 健康食品安全対策委員会 [8月26日(木)・11月25日(木)・Web会議] について

(山下委員)

第3回委員会(8月26日)では、㈱電通の齊藤徹氏より「シニア女性の健康食品摂取・メディア接触情報から見る健康被害防止に向けての考え方」と題し、サプリの摂取状況・入手経路とメディア接触状況、被害報道状況、健康被害認知状況の講演後、国民へのアプローチ、理解促進策について検討した。第4回委員会(11月25日)では、日本陸連の医事委員長である山澤文裕氏より「アスリートのサプリメント使用への対応(ヘルスリテラシーを高める日本陸連の活動)」と題し、アンチドーピングの観点からサプリメントを摂取せず、必要な場合には医師や栄養士、薬剤師への相談を勧めているとの講演後、健康食品安全対策に関する国民(シニア女性・中高年ほか)へのアプローチについて意見交換を行った。

2) 社保診療報酬検討委員会 [9月15日(水)・11月17日(水)・Web会議] について

(橋本常任理事)

諮問2「新型コロナウイルス感染症に対応した診療報酬のあり方」について、第5回委員会(9月15日)では掲載項目について検討し、第6回委員会(11月17日)では取りまとめに向け協議を行った。「現行の診療報酬制度における感染症対策について」、「これまでに実施された診療報酬上の特例的な対応について」および「第8次医療計画に向けた診療報酬上の対応について」などを柱に答申案を作成し、中川会長へ提出予定である。

3) 病院委員会 [10月7日(木)・12月2日(木)・Web会議] について (佐古副会長)

各地での新型コロナウイルス感染症への対応について、第5回委員会(10月7日)では愛知県と福岡県、第6回委員会(12月2日)では岡山県と神奈川県から発表があり、意見交換した。また、第8次医療計画等に関する検討会、外来機能報告等に関するワーキンググループならびに社会保障審議会医療部会における審議状況の報告があり、意見交換した。答申は、コロナ対応についてのアンケート調査を各都道府県へ行うことや委員に各地域のコロナ対応経験を記載し、これを踏まえ、今後の医療計画や診療報酬制度をどうするべきか素案を作成したいとの発言があった。

4) 広報委員会 [10月21日(木)・Web会議] について (山科常任理事)

第10回日本医師会赤ひげ大賞候補者、第5回生命を見つめるフォト&エッセーならびに日医ホームページ掲載「なるほど!診療報酬」等の進捗状況について報告後、小冊子「禁煙は愛」の改訂について協議を行った。その後、前回協議した「日本医師会の組織強化に向けて」について、医師会組織強化検討委員会・空地委員長による組織強化検討委員会で検討されてきた施策のヒアリングを踏まえ、今後の活動のあり方について議論が交わされた。

5) 医療関係者検討委員会 [10月29日(金)・Web会議] について (水谷常任理事)

前回議論した遠隔授業について、厚生労働省に確認した内容の報告があった後、諮問「withコロナ時代における医療人材の確保について」の答申素案について協議した。

6) 母子保健検討委員会 [11月4日(木)・Web会議] について (三戸常任理事)

令和3年度母子保健講習会プログラムについて検討した後、諮問「子どもを産み育てやすい社会の実現に向けて医師会はどう関わるべきか～成育基本法をもとに～」に対する答申取りまとめに向け、論点を整理し意見交換を行った。

7) 医療経営検討委員会 [11月4日(木)・Web会議] について (橋本常任理事)

コロナ禍の医療機関の経営状況等が報告された後、新型コロナウイルス感染症関連の医療機関への公的支援制度について報告された。また、答申に盛り込むべきテーマについて意見交換を行い、新型コロナウイルス感染症下の項目や今後のあり方に関する項目などについて執筆の分担を確認した。

8) 救急災害医療対策委員会 [11月17日(水)・Web会議] について (目黒常任理事)

救急救命士法の一部改正ならびに、大阪府医師会が主催した「感染管理区域で従事する医師・看護師のための研修会」(9月5日)の概要について報告された。また、本委員会にワーキンググループを設置しており、地域包括ケアシステムにおける救急医療やJMATのあり方等について、引き続き検討を進めていく予定である。

9) 地域医療対策委員会 [11月19日(金)・Web会議] について (笹本常任理事)

厚生労働省の外来機能報告等に関するワーキンググループの論点のうち、紹介状なしで受診する場合等の定額負担に係る課題や、医療資源を重点的に活用する外来などについて、同省医政局総務課と意見交換を行い、答申骨子案について協議した。

10) 未来医師会ビジョン委員会 [11月20日(土)・

Web併用] について（上埜委員）

事前課題を基にA・Bチームに分かれ、グループワークを行った。Aチームは、(1) オンライン診療、(2) オンライン資格確認システムとPHR、(3) 医師の働き方改革と診療科偏在について、Bチームは、(1) 地域医療構想、(2) 地域医療連携と医療・介護連携、(3) 新興感染症に対する危機管理について、意見交換を行った後、答申の取りまとめについて協議した。

11) 医師会共同利用施設検討委員会 [11月26日(金)・Web会議] について（伊藤常任理事）

答申素案について、各委員からの提出部分の説明および討議を行った。小職は、「医師会共同利用施設の今後のあり方（地域包括ケア病床）」の項目で、函館市医師会病院の取り組みについて記載する予定である。

12) 有床診療所委員会 [12月1日(水)・Web会議] について（岡部委員）

令和4年度税制改正要望のうち、消費税に関する内容について説明があり、その後、最終答申の原稿案について協議した。

13) 学校保健委員会 [12月3日(金)・Web会議] について（荒木常任理事）

文部科学省より、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルの改訂内容、政府補正予算学校保健分野に関する内容について行政報告があった後、ワーキンググループ委員が作成した答申案について意見交換が行われた。

14) 産業保健委員会 [12月8日(水)・Web会議] について（生駒常任理事）

厚生労働省より「事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行等について」説明があった後、諮問「新たに設置した連絡協議会における産業医支援事業の具現化－産業医活動の活性化と産業医の社会的地位向上を目指して－」の答申骨子案について協議した。

15) 外国人医療対策委員会 [12月9日(木)・Web会議] について（伊藤常任理事）

報告書素案について協議した。報告書は、「1. はじめに」「2. 外国人医療を取り巻く現状と取組について」「3. 新型コロナウイルス感染症の影響について」「4. 外国人医療が直面する課題について」「5. 医療通訳に関する各地域の取組事例について」「6. おわりに」で構成される予定である。

4. 承認事項

(1) 北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について（伊藤常任理事）

旭川市医師会から回答のあった西村英夫先生

(旭川医療センター) を推薦することを承認決定。

(2) 外部各委員会等委員の推薦について

(目黒常任理事)

第5回理事会(10月9日開催)以降に推薦のあった、北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課所管の北海道CDR(チャイルド・デス・レビュー)推進会議委員と、北海道CDR推進会議多機関検証ワーキンググループ委員に三戸常任理事、北海道学校保健会の理事に松家会長を推薦することを承認決定。

(3) 事務局の人事異動について（目黒常任理事）

11月1日付け事務職職員2名の人事異動を承認決定。

5. 協議事項

第1号 令和3年度補正予算案に関する件

(目黒常任理事)

退任された役員11名の役員退任慰労金に関する令和3年度補正予算案を承認することを決定。

第2号 令和4年新年交礼会 [1月6日(木)] の開催中止に関する件（目黒常任理事）

新型コロナウイルス感染症の見通しが不透明でもあり、他団体が中止している状況も踏まえ、中止することを決定。

第3号 北海道医師会職員給与規程等の一部改正に関する件（目黒常任理事）

国の人事院勧告に基づき、北海道人事委員会が勧告した道職員の令和3年度、令和4年度期末・勤勉手当の改定に準じて、当会職員についても同様に適用することを決定。

第4号 理事提案事項

特になし。

6. 道総医協関連事項（鈴木副会長）

令和3年度第5回理事会(令和3年10月9日)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉 会

第19回常任理事会

日 時 令和3年12月27日(月) 18:30～19:05

場 所 北海道医師会館・9階理事会室

出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・高橋・寺本各常任理事、藤瀬監事
(Web参加者) 橋本・菅田両常任理事、外園監事

(事務局：本当事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 北海道国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会委員の推薦に関する件

(目黒常任理事)

菅田常任理事を推薦することと決定。

第2号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（生駒常任理事）

認定要件を満たした新規申請者8名と更新申請者53名を承認し、日医へ申請することと決定。

第3号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（三戸常任理事）

認定要件を満たした新規申請者2名と更新申請者5名を承認し、日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（高橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座7件を承認することと決定。

第5号 職員の人事異動に関する件（目黒常任理事）

令和4年1月4日付で杉島財務課長補佐を財務課長へ昇格する人事異動を了承。

第6号 その他

(1) 令和4年1月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 医師事務作業補助者スキルアップ講座〔令和3年度・Web併用〕について（水谷常任理事）

今年度は、ハイブリッド形式により全4回開催した。心臓血管外科等各専門の医師から病気の話や治療方法について講演があり、引き続き、医療関係職能団体等から専門職種の業務等について講演があった。その後、生命保険診断書等の各種文書作成スキルについて演習を行い、受講者数は延べ360名（会場20名、Web340名）であった。来年度も同様の形式で開催する予定である。

2. 介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会について（菅田常任理事）

北海道からの受託事業として実施している本研修会を、函館・帯広・旭川の3地域で現地開催したほか、札幌ではハイブリッド形式にて2回開催した。小職をはじめ当会担当役員が、介護保険制度における主治医意見書の記載例を解説し、北海道保健福祉部の医療参事より、同制度の概要と障害者総合支援法について説明を行った。出席した医師には、北海道から受講修了証が発行される。参加者は合計523名であった。なお、すべての会場にて北海道ヘルスケア・ロボット協会から提供いただいた介護用ロボットの紹介動画を映写した。

3. 第16回医療の質・安全学会学術集会〔11月27日（土）～28日（日）・Web開催〕について

（長谷部常任理事）

日本赤十字社医療事業推進本部の矢野真絵括副本部長が大会長となり、オンラインで「心でつながる安全文化～Cosmetic Complianceとの戦い～」をテーマに開催された。大会長講演、教育講演、特別講演等に加え、パネルディスカッションが行われた。

4. 学校保健推進委員会〔12月12日（日）〕について（三戸常任理事）

本委員会は、例年、北海道学校保健・安全研究大会の開催地で前日に開催しているが、今年度の大会はホームページの動画を視聴する形態で実施されたため、札幌市において開催した。会長の挨拶の後、規程に基づき委員長に地域保健部長の小職、副委員長に副部長の荒木常任理事を選出した。その後、小職より学校保健に関する当会の対応等を報告した後、北海道教育委員会から「コロナ禍における学校保健の課題や取組」について説明があった。引き続き、各委員から「学校医からみたコロナ禍による子どもたちの心身への影響」をテーマに現状・問題点などを発表した後、意見交換を行った。

5. 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会〔12月12日（日）・Web会議〕について（三戸常任理事）

本協議会は、学校における新型コロナウイルス感染症対策など、これまでの対応では解決できないことが発生していることから、学校保健活動のあり方を検討することを目的に開催された。日医・中川会長の挨拶の後、文部科学省健康教育・食育課 三木課長より「学校保健」について、文部科学省特別支援教育課・山田課長より「特別支援教室の充実」について、日本学校保健会・弓倉専務理事より「学校保健分野における課題と対応」について、それぞれ説明があった。その後、事前に寄せられた質問などに対し、3名および担当役員より回答した。当会からは、「子宮頸がんワクチンの接種拡大に向けた提言」と題して、児童生徒がワクチンの正しい知識を得ることができるよう、厚生労働省から文部科学省への働きかけを要望した。

6. 医療関係者等スキルアップセミナー〔12月15日（水）〕について（三戸常任理事）

北海道健康づくり財団の委託を受け「高齢者における糖尿病・サルコペニア対策」をテーマに、本年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ハイブリッド形式にて、NTT東日本札幌病院院長の吉岡成人先生より、糖尿病と新型コロナウイルスのフレイル、サルコペニアへの影響等について講演があった。参加者は71名（会場8名、Web63名）であった。

7. 北海道航空医療ネットワーク研究会（HAMN）役員会・総会〔12月18日（土）〕について

（目黒常任理事）

北海道医師会館で開催し、36名が出席した。はじめに浅井康文HAMN会長から挨拶があり議事に入った。令和2年度の活動報告・決算・監査報告を行い、続いて令和3年度の活動計画・予算案について報告し承認された。指定報告では、奈良理メディカルディレクター（手稲溪仁会病院救命救急センター長）から「北海道患者搬送固定翼機運航事業」について、上村修二メディカルディレクター（札幌医科大学救急医学講座講師）から「研究運航」について、本望修・札幌医科大学附属病院神経再生医療

科教授から「ステミラック適応患者の搬送実績」についてそれぞれ講演があった。

8. 第30回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 [12月24日 (金)・Web会議] について (三戸常任理事)

日医・中川会長の挨拶の後、担当役員および厚生労働省担当者より、新型コロナワクチンの追加接種(3回目接種)の進め方ならびに新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格の見直し等について説明があり、質疑応答が行われた。政府方針を踏まえ、臨時的に本年12月31日に前倒して検査価格が引き下げられることについて、多くの県から反対の声が上がり、中川会長が厚生労働省と協議を行うと述べた。

9. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道CDR推進会議 [12月14日 (火)]

について (三戸常任理事)

出席メンバーによる自己紹介の後、会長選出があり、小職が会長に就任しチャイルド・デス・レビュー(CDR)についての講義を行った。続いて北海道CDRモデル事業について、北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課より説明があり、意見交換を行った。次回は令和4年3月に開催予定である。

(2) 第2回いじめ問題審議会 [12月20日 (月)・Web併用] について (三戸常任理事)

事務局より、「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の北海道の結果について報告があった。その後、平成31年2月に策定した「北海道いじめの防止等に向けた取組プラン」の目標達成指数等について説明があり、意見交換が行われた。